

## 會 告 (II)

(鐵鋼技術史改題)

### 日本鐵鋼技術概觀 發賣豫約

豫て政府の依頼により學術振興會で幹旋中であつた、戦時中の我邦科學技術史の編纂中、鐵鋼技術史に關しては本協會が専ら之にあたることとなつたので、本會では會長山岡武君を監修とし副會長志村清次郎君を委員長とし別項の通り各部門夫々の最大權威者を網羅し絶大の努力と莫大の經費とを以て我邦近年鐵鋼に關する貴重なる苦心探求の結果を文献として後代に遺すべく點綴することが出來た。乃ち本書は將來學術研鑽の士の好伴侶であつて又一刻も離すべからざる座右の銘であることを明言して憚らない。但し冊數に限りあり此好機を逸せず今直ぐ次記要領により豫約申込まれたく茲にお勧めいたします。

#### 申 込 要 項

- (1) 豫約申込締切月日 昭和 24 年 11 月 15 日
- (2) 竣工. 昭和 24 年 12 月中旬 (代金引換へて配本します) の豫定
- (3) 豫約申込所 東京都千代田區丸ノ内 2 ノ 10. 仲 14 號館 1 號

#### 日 本 鐵 鋼 協 會

B 型 5 號版 364 頁 (圖表・寫眞版共)  
一冊代價 約 600 圓 (目下交渉中)

電話丸ノ内 (23) 3626 番  
振替東京 193 番

#### 内 容 及 執 筆 者 (前號所載中脱漏及誤記訂正)

序文 山岡武君、緒言 志村清次郎君、

- 第 I 編 鑛石及溶劑 (責任者、安田勇治君) 第 1 章、鑛石 (安田勇治君、白石芳雄君) 第 2 章、溶劑 (安田勇治君、白石芳雄君、成廣清士君)
- 第 II 編 燃料 (責任者、大野宏君) 第 1 章、石炭及コークス (大野宏君) 第 2 章、重油、タール及ガス (村田巖君、西郷吉郎君、説樂正雄君)。
- 第 III 編 耐火材料 (責任者、河内通君) 第 1 章、概説 (河内通君) 第 2 章、製鉄用耐火材料 (河内通君)、第 3 章、コークス爐用耐火材料 (河内通君) 第 4 章、製鋼用耐火材料 (河内通君) 第 5 章、均熱爐及び加熱爐用耐火煉瓦 (河内通)
- 第 IV 編 電極 (責任者、寒川恒一郎君) 第 1 章、天然黑鉛電極 (寒川恒一郎君) 第 2 章、人造黑鉛電極 (寒川恒一郎君) 第 3 章、其他の電極 (寒川恒一郎君)
- 第 V 編 鐵屑 (湯川正夫君) ○第 VI 編 製鉄法 (責任者、里村伸二君) 第 1 章、熔鑛爐法 (里村伸二君 和田龜吉君) 第 2 章、電氣爐法 (向山幹夫君) 第 3 章、バツセー法 (梅津七藏君、垣内富士雄君)
- 第 VII 編 フェロアロイ製造法 (責任者、笹部誠君) 第 1 章、フェロシリコン及金屬珪素 (笹部誠君) 第 2 章、フェロマンガン、スピーゲル、金屬マンガン及シリコマンガン (笹部誠君、芹澤正雄君) 第 3 章、フェロクロム及びシリクロム (笹部誠君) 第 4 章、フェロタンゲステン、フェロモリブテン、フェロワナヂウム、フェロチタニウム、フェロホスホル、カルシウムシリサイド、フェロニツケル、フェロデルコニウム (笹部誠君)
- 第 VIII 編 製鋼原鐵製造法 (責任者、佐々川清君) 第 1 章、ルツベ (廣瀬政次君) 第 2 章、海綿鐵、棒鐵等 (佐々川清君、及川象平君) 第 3 章、電解鐵 (花岡元吉君) 第 4 章、電氣爐原鐵 (花岡元吉君)
- 第 IX 編 普通鋼及其製造法 (責任者、蜂谷茂雄君) 第 1 章、普通鋼の種類並に規格 (蜂谷茂雄君) 第 2 章

平爐法（蜂谷茂雄君）第3章。電氣爐法（蜂谷茂雄君）第4章。ドーマス轉爐法（木下恒雄君）第5章。造塊法（蜂谷茂雄君）

○第X編 特殊鋼及其製造法（責任者、吉川晴十君）第1章。特殊鋼の種類（佐藤忠雄君）第2章。平爐法（土居寧文君、近藤八三君）第3章。電氣爐法（兒玉藤雄君）第4章。平爐電氣爐合併法（池田正君）第5章。造塊法（吉川晴十君）

○第XI編 製銑及製鋼反應（責任者、田中清治君）第1章。製銑反應（澤村宏君）第2章。製鋼反應（田中清治君）

○第XII編 鋼の加工法（鑄物製造に關しては凡て鑄物協會に於て擔當のことに協定）第1章。歷延法（北村外喜男君）第2章。鍛造法（鍵和田暢男君、金澤千春君、阿部信男君、川村宏矣君）第3章。深絞法（小藪重行君、小野節三君、植村吉明君、河本茂君）第4章。引拔法（木下重信君、新保越夫君）

○第XIII編 鋼材の熱處理法（責任者、小林佐三郎君）鋼の熱處理理論は金屬學會擔當のこととし本論にては主として大型鋼材の實地熱處理法を取扱ふものとす。第1章。燒準及燒鈍法（下田秀夫君）第2章。燒入及燒戻法（下田秀夫君）。

○第XIV編 鋼の表面硬化法（責任者、芥川武君）第1章。滲炭法（關口次郎君）第2章。窒化法（關口次郎君）第3章。高周波燒入法（芥川武君）

○第XV編 特殊製品の製造法（第1章。鋸力板製造法（藤木俊三君）第2章。亜鉛引鐵板製造法（毛利一雄君）第3章。珪素鋼板製造法（中島道文君）第4章。装甲板の製造法（伊木常世君）第5章。防彈鋼板製造法（吉田清三郎君、錦織清治君、淺田千秋君）第6章。鋼管製造法（望月要君）第7章。中空鋼製造法（志村清次郎君）第8章。高壓容器製造法（小田助男君）第9章。ボールベアリング用線製造法（藤木俊三君）第10章。ピアノ線製造法（江塚保君、高尾善一郎君）第11章。熔接棒製造法（伊丹榮一郎君、高尾善一郎君）第12章。燒結鐵製品製造法（窪田治夫君）第13章。耐久磁石（三島徳七君）第14章。アルフェロ、フェリタル、其他の純鐵、瓦斯タービン材、真空管材等の製造法（俵信次君、池田正君、佐藤忠雄君）

○第XVI編 鋼の材質改善に關する問題 第1章。白點其他鋼の缺陷及其防止法（室井嘉治馬君）第2章。非金屬介在物に依る鋼の品位判定法（菊地浩介君）第3章。鋼の粒度判定法（河合正吉君）第4章。鋼中の瓦斯定量法（大中都四郎君、細田董君、齋藤泰一君）第5章。鋼中の非金屬介在物定量法（森脇和男君）第6章。鋼の溫度測定法（菅野猛君）第7章。鋼種判別法及鋼材検査法（玉置正一君）

營業  
品目

珪石質・クローム質・高パン  
土質・シヤモット質・ロー石  
質・ノズルストツパー煉瓦。  
コルナ煉瓦。其ノ他各種耐  
火煉瓦及耐火モルタル。普  
通煉瓦



大阪窯業株式會社

社長 高野新治郎

本社 大阪市北區中之島三丁目三  
(電話大阪北濱 1085)  
支社 東京都千代田區神田神保町一丁目一  
(電話神田 276)  
工場 平坂「愛知縣」貝塚「大阪府」東京  
「埼玉縣」岸和田「大阪府」

炉壁から逃げる莫大な熱損失は防止されてゐますか？

簡易な  
現実な  
熱管理の合理化  
燃料の節約  
加熱時間の短縮  
炉内温度の均斉



本社 石川縣七尾市和倉驛前  
工場 電話和倉 66 番  
東京 東京都千代田區神田鍛冶町一の二  
營業所 (太洋ビル) 電話神田 (25) 1793 番  
大阪 大阪市西區土佐堀船町二三 (大阪  
營業所 商工ビル) 電話土佐堀 (44) 2748 番  
九州出張所 福岡市竹若町三五